

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 5 月 9 日

事業名称		文化財保護・保存事業費 [文化財保護・保存事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号	8			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育			課	郷土博物館		係	課長名	高田匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 4			
【施策名】 市民文化の振興							総合計画書 (ページ)	41			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民・地域の文化財				人口						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
文化財の保護・保存に努める。 文化財保護思想を普及する。				旧日立航空機株式会社変電所公開回数/見学者数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①旧日立航空機株式会社変電所の公開 旧日立航空機株式会社変電所保存修復工事実施設計委託 その他、文化財専門員会議の開催、里正日誌の刊行、埋蔵文化財立会い・試掘調査、文化財保護・保存団体への補助など				①変電所公開回数 回/見学者数 人 ②里正日誌第3巻刊行							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	①回・人 ②冊	①37/7,377 ③一巻	①41/6,782 ③2巻	①37/5,709 ②3巻					
	目 標	②の目標値					①18/2,283 ②4巻				
	目標値設定の考え方 変電所は工事がはじまるため8月までの公開となり、うまかんべえ祭の中止が決まっていることから人数は6割減とした。										
活動指標	③の数値	①回・人 ②冊	①37/7,377 ③一巻	①41/6,782 ③2巻	①37/5,709 ②3巻						
3 経費	事業費(実績)		円	8,497,093	9,398,459	13,996,540	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	8,477,093	9,378,459	13,976,540					
		特定財源	円	20,000	20,000	20,000					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	8,253,000	8,244,000	8,310,000					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	16,750,093	17,642,459	22,306,540						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H6 年度								
	(2) 環境の変化 (変電所) 平成7年度に修復工事を行った後、機銃掃射による弾痕が残る壁が剥離しかけ、屋上からの雨漏りもひどく なってきている。一方、文化財ボランティアに公開により、認知度が上がり全国各地から来場者が見えるようになった。										

事業名称	文化財保護・保存事業費 [文化財保護・保存事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 里正日誌第6巻の刊行を待ち望む声が寄せられた。 変電所工事完了後の展示内容について2月議会で質問があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：①共催（変電所の公開）、④事業委託（里正日誌の読み下し）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 情報交換と共通認識をもって活動していくこと			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） （里正日誌）読み下し・校正、解題原稿の執筆の、日程調整や事務分担について検討する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 執筆者の高齢化や仕事での海外渡航などもあることから、早めに業務依頼をした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 印刷部数の見直し等			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民文化の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 変電所の修復工事がはじまり、展示内容についても具体化していく。 里正日誌については、計画どおり4巻～6巻の刊行に努める。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	展示内容について、文化財ボランティアとともに考察を重ね検討していく。			